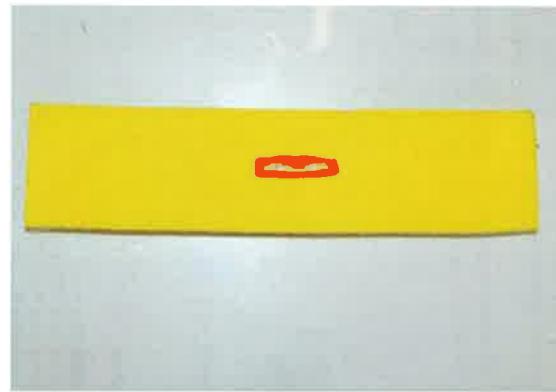


3— tool 16 簡単にボタンをはめることができ るパネル



ボタンはめかんたんパネル

手だてのポイント

夢奈は、直径2cmのボタンの、半分程度がボタン穴から出ていると、その部分をつまんでひっぱることができます。夢奈が、ボタン穴からボタンを半分のぞかせるために、支える補助になるパネルです。



用 意

材 料：スチレンボード

使い方

- ①スチレンボードの切れ込みにボタンの端を3分の1ほどさし込みます。
- ②パネルを持ち、ボタンをさし込んでない方の端をボタン穴から3分の1ほど出します。
- ③パネルと白衣とを合わせて持ち、ボタン穴から出ている部分を反対の手で引っ張ります。

支援×指導=できた!!

夢奈は、白衣に両腕を通すと、ポケットから「ボタンはめかんたんパネル」を取り出しました。夢奈は、ボタンをパネルに押し込み、ボタンがさし込まれたパネルを腹に当てました。夢奈は、パネルから突き出したボタンの上から白衣を押しつけました。パネルを左手で持った夢奈は、右手でボタン穴からのぞいたボタンをつまみ、引っ張りました。ボタンがパネルから抜け、ボタン穴を通ると、夢奈は、「できました」と言ってにっこりしました。



パネルを左手で持ち、右手でボタンをつまみ出す夢奈

3— tool 17 一人で着替えができる手順ボード



朝の支度の手順

帰り仕度の手順

支援×指導=できた!!

俊也は、朝登校すると自分のロッカーの前に行き、着替え手順ボードを見ました。そして、[①にもつをだす] のプレートを指さし、ランドセルから荷物を出しました。そして、①のプレートをホワイトボードから外して下のトレイに入れると、[②きがえ] のプレートを見て着替え始めました。着替え終わると、②のプレートを外し下のトレイに入れ、[③たたむ] のプレートを指さし、ロッカーからかごを出しました。そして、かごの前に座り、自分が脱いだ制服をたたみ始めました。たたんだ制服をかごにいれると、③のプレートを外し、[④ロッカーにいれる] のプレートを見て、制服が入ったかごとランドセルとロッカーの中にしまいました。

このようにして、俊也は登校してから朝の支度を一人で行えるようになりました。

手だてのポイント

俊也は、写真を見ることが好きです。そんな俊也が入学して間もないころ、それまで教師が一つずつ指示を出していたことを、写真のプレートにして順番にホワイトボードにつけました。

これを見て、支度を行い、一人でもできるんだという自信を、俊也がつけていってほしいと思い、作りました。



工 夫

材 料：ホワイトボード

マグネット

ウッドラック（ダウ化工）

工 夫：プレートの裏に磁石をつけておくことで、ホワイトボードにつけたり外したりが簡単にできます。

終わったことが視覚的にわかりやすいように、終わったプレートをしまうトレイをつけました。